

令和7年11月20日における職員団体との総務部長交渉に係る 概要について

1 職員の処遇の改善

職員団体の主張	○ 職員の士気を確保するためには、処遇の改善が必要である。
総務部長の回答	○ 職員の処遇の改善については、引き続き努力する。

2 業務量に見合った職員定数の配置

職員団体の主張	○ 職員の負担軽減、さらには業務執行上の安全を確保する観点から、より一層の業務量縮減や人員配置が必要である。
総務部長の回答	○ 人員配置については、職員の過度な負担となることがないよう、会計年度任用職員の新規配置、正職員の前倒し採用など、できる限りの対応を行っている。 来年度の組織体制については、仕事や組織の見直しをこれまで以上に徹底しながら、引き続き職場実態をよく確認し、必要なところに適切に人員を配置していく。